

2017年度LIMA理事選任投票

候補者選任に関する意志表示を記載の上、投票用紙を以下住所宛ご返送下さい。

LIMA - 選挙管理事務局
350 フィフス・アヴェニュー 部屋番号6410
ニューヨーク州ニューヨーク 10118

もしくは
ファックス: 212-563-6552

LIMA理事選考委員会は、LIMA理事会の新理事選任にあたり、以下の候補者を推薦いたします。

JJ・エイハーン - ライセンシング・ストリートLLC マネージング・ディレクター

マーク・モストマン - ストライカー・エンターテインメント パートナー

セルーズ・ラファエル - エクシム・キャラクター・リチエンシアメント・エ・マーケティング・
リミテッド ジェネラル・マネージャー

スティーブン・シェベロ - NFLプレイヤーズ・アソシエーション ライセンス・アンド・ビジ
ネス・デヴェロップメント ヴァイス・プレジデント

ジェイミー・スティーブンス - ソニー・ピクチャーズ・エンターテインメント ワールドワ
イド・コンシューマー・プロダクツ シニア・ヴァイス・プレジデント

推薦された候補者の選任に賛成または反対、もしくは別途選任を希望する候補者名を以下記載していただければ、対象者が理事選任の基準を満たしている限り、票として計算されます。理事選任の対象者は、ライセンス業界で最低5年間の業務経験があり、過去5年間に少なくとも1年、当協会の事業に積極的に参加していません。

- ☐ LIMA理事会が、推薦された候補者を選任することに賛成します。
- ☐ LIMA理事会が、推薦された候補者を選任することに反対します。
- ☐ 候補者選考委員会が推薦する候補者の代わりとして、以下の人物を理事とすることに投票します。

名前: _____ 企業名: _____

名前: _____ 企業名: _____
名前: _____ 企業名: _____

有効票とされるには、投票用紙に署名の上、2017年5月12日までにLIMA事務局まで提出してください。

氏名

企業名

署名

日付

LIMA 理事候補者経歴

JJ エイハーン - ライセンス・ストリートLLC マネージング・ディレクター

JJ エイハーンは現在、包括的にライセンスとコンサルティングのサービスを行っているライセンス・ストリートのマネージング・ディレクターです。2009年に創業した同社は、アメリカン・グリーティングス、ジム・ヘンソン・カンパニー、パラマウント・ピクチャーズ、ナショナル・ジオグラフィック・キッズ、ペンギン・パブリッシング、MTVネットワークス等の顧客を抱えています。エイハーンは過去8年間、35社を超える顧客や何百ものパートナー／ライセンシーと業務を行ってきました。以前は、ニケロディオン・コンシューマ・プロダクツやCBSコンシューマ・プロダクツでそれぞれ、リテール及びビジネス・デヴェロップメント担当ディレクターを務めました。

エイハーンは、「ハウ・トゥ・ビルド・ア・ライセンス・プラン」や「ホワット・メイクス・ア・マーチャンダイザブル・プロパティ」など複数のLIMAウェビナー、「ライセンス101」のパネル・プレゼンテーション等ライセンス・ユニバーシティでのスピーチなど、LIMAを活発にサポートしてきました。また、キッズスクリーンでライセンス関連のパネルの司会をしたり、ライセンス・ジャーナル誌で戦略に関する記事を執筆したり、ニューヨーク・トイフェアでライセンスのプレゼンテーションを行ったりと、ライセンス業界を代表する活動も行っています。

ライセンサー、ライセンシー、製造業者、小売などライセンス業界にかかわる人々と幅広く活動しているエイハーンは、LIMAの理事会に付加価値を与えることでしょう。ライセンス・ストリートの顧客も、ロンドンからアブダビ、タイからポルトガルまで全世界に広がっています。エイハーンは、1990年代後半、香港のメモコープ・アジア(メモレックス・エレクトロニクス)の総支配人をしているときに、初めてライセンス関連の取引を行いました。

マーク・モストマン - ストライカー・エンターテインメント パートナ

—

マーク・モストマンは、ロサンゼルスに本社を置くライセンス・エージェント、ストライカ

ー・エンターテインメントの創立パートナーであり、エンターテインメント・ライセンスにおいて20年以上の経験をもつ、ライセンスとマーケティングの熟練したエグゼクティブです。長年にわたり、ディズニー等のクラシックな子供向けブランドから映画シリーズ（トワイライト・サーガ、ハンガー・ゲーム）、テレビジョン番組（ウォーキング・デッド、ドクター・フー、スタートレック）、アニメーション（アストロボーイ[鉄腕アトム]、パックマン、ストリートファイター）、ビデオゲーム（アングリー・バード、ファイブ・ナイツ・アト・フレディズ、バイオハザード、トゥームレイダー）、コミックブック（ザ・クロウ、パワーズ）に至るまで、様々なプロパティの大きな商品化プログラムを創出してきました。

モストマンは、販売、マーケティング、商品開発、事業開発、小売開発、商取引全般等々、商品化に関わるあらゆる側面の業務を手がけてきました。ストライカー・エンターテインメントのパートナーとなる前は、モスト・マネージメントというライセンス・エージェントを設立したり、パラマウント・スタジオのライセンス事業部門、バイアコム・コンシューマ・プロダクツで国内ライセンス担当エグゼクティブ・ディレクターを務めたりしてきました。また、ウォルト・ディズニー・カンパニーでディズニー・インタラクティブの事業開発を担当していたこともあります。ライセンスのキャリアは、エンターテインメント・ライセンシング・アソシエイツでライセンスとビジネス・アフェア担当ディレクターだった頃に始まりました。

モストマンは、LIMAの西海岸地区代表を二期務め、ロサンゼルス地域でネットワーキングやライセンスのイベントを組織するのを手伝い、また、ライセンシング・ユニバーシティのスピーカーも務めてきました。

セルーズ・ラファエル - エクシム・キャラクター・リチエンシメント・

エ・マーケティング・リミテッド ジェネラル・マネージャー

ライセンス業界で30年にわたる経験をもつセルーズ・ラファエルは、ラテンアメリカで最も経験があり才能に恵まれたプロフェッショナルの一人として認められています。ラファエルは長年、業界とブラジル市場の成長に多大な貢献をしてきました。ブラジルはマクロ経済の問題から日々困難を強いられている国ではありますが、多額の小売売上を生じている世界でもトップクラスのライセンス市場としての地位を獲得しています。ラファエルが、ライセンスを専門とするコラボレーターたちと共に、ブラジルでライセンス・エージェント会社を運営していることにより、多くのプロパティの開発が成功し、コロンビア、ペルー、チリなど中規模の国々に進出するきっかけを切り拓くことができました。

ラファエルは、ライセンス・エキスポやロンドンのBLE等のトレードショウに活発に参加しているほか、韓国のLIMAの活動でスピーカーを務めました。また、ラテンアメリカ全域でアドバイスを与え、ライセンスやビジネス全般に関する教育を行っています。予算管理、マーケティング、トレンドの分野で多大な経験を持つエコノミストでもあります。そして、ラテンアメリカという地域がもつ原動力と、そこに内在する課題や困難とを誰よりも理解しています。LIMAの理事会に価値ある国際的な視点をもたらしてくれることでしょう。

スティーブ・シェベロ - NFLプレイヤーズ・アソシエーション ライセンス・アンド・ビジネス・デヴェロップメント ヴァイス・プレジデント

スティーブ・シェベロは、ライセンス業界においては、スポーツ・ライセンス分野独自の視点と、コーポレート・ブランド・ライセンスでは世界的なリーダー（コカコーラ）企業で働いた経験とを兼ね備えています。また、以前は専門的なライセンス・エージェントの主要メンバーであったこともあり、ネットワーキングや、個人的及びプロフェッショナルに強力かつ長期的な人間関係を築いていくことのパワーをよくわかっています。

シェベロは、NFLPAを通じてLIMAの活動を活発に行っており、ライセンス業界には過去20年間携わってきました。彼のライセンス・ビジネスに対する経験と熱意とは今も年々成長を続けています。シェベロの活動には、ライセンス・ユニバーシティでのパネリスト(2015年「テスト・ザ・リミット・オブ・ユア・ライセンス・プログラム」と2017年の「ベーシック・オブ・スポーツ・ライセンス」)、2017年のライセンス・サミットでのパネリスト（スポーツ・ライセンス: ビルディング・ア・グローバル・ビジネス）、LIMAの2016年10月のウェビナー（シェイピング・ア・ディール・イン・アン・エヴァー・チェンジング・マーケットプレイス）、ニューヨーク州立大学のライセンス・コース（2014～2017年）でのゲスト講演などがあります。

ジェイミー・スティーブンス - ソニー・ピクチャーズ・エンターテインメント ワールドワイド・コンシューマー・プロダクツ シニア・ヴァイス・プレジデント

ジェイミー・スティーブンスは、ライセンス業界で過去20年にわたり活動を行い、豊富な経験と業界知識とを身に着けています。ソニー・ピクチャーズ・エンターテインメント・モーション・ピクチャー・グループには2016年6月にワールドワイド・コンシューマー・プロダクツ部門のシニア・ヴァイス・プレジデントとして入社しました。グローバル・コンシューマ・プロダクツ・アンド・ライセンスのチームを統括し、『モンスター・ホテル』、『スマーフス』、『ゴーストバスターズ』、これから公開される『エモジ・ムービー』、『ピーター・ラビット』等の映画シリーズなど、同スタジオの新旧プロパティから発生する商品とライセンスの機会を拡大し、収益をあげていく取組みを指揮しています。スティーブンスは、消費財のライセンス、小売向けマーケティング、小売開発、パートナーシップ・マーケティング、プロモーションなどを専門とする国際的なマーケティング・エグゼクティブであり、商品やライセンス・プログラムを戦略的、創造的、かつ高い収益性をもって開発・遂行できる映画業界の第一人者として、評価を得てきました。

スティーブンスは、ソニー・ピクチャーズに入社する前、NBCユニバーサル of グローバル・リテール・マーケティング・アンド・デヴェロップメント部門シニア・ヴァイス・プレジデントとして、『怪盗グルーの月泥棒/ミニオンズ』のグローバル・キャンペーンを開始し、600社ものライセンシー、1億ドル超のライセンス収入を伴う数十億ドルのビジネスへと育て上げました。他の成功例には、『ワイルド・スピード』や『ジュラシック・ワールド』シリーズ、『キングコング』、『マイアミ・バイス』、『おさるのジョージ』、『超人ハルク』、『キャット・イン・ザ・ハット』、『アメリカン・パイ』などの世界的ヒット作があります。スティーブンスはまた、ディズニー、ナショナル・フットボール・リーグ、ハズブロ、リーボックでも業務経験があります。

彼女は、2017年3月に開催されたNYCライセンシング・サミットのパネリストで、その他の多くの業界活動をサポートしてきました。